

記者発表資料

提供日：平成 19 年 6 月 7 日

担 当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局
(財団法人 日本花普及センター)

連絡先：03-3664-8739



ジャパンフラワーセレクション2007-2008 切花部門 13品種、鉢物部門13品種が入賞決定。

「切花部門・鉢物部門 in ジャパンフラワーフェスティバルさいたま 2007」にて
2007年5月31日(木)に審査会を実施しました。

【展示期間:6月1日(金)~6月3日(日)】

1. 概要

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション2007-2008」の切花部門・鉢物部門の審査会を、5月31日(木) ジャパンフラワーフェスティバルさいたま 2007の会場で実施し、切花部門13品種、鉢物部門13品種が入賞として選定されました。

入賞した品種は、花の業界が推奨する品種として「JFS 受賞マーク」を表示して販売することができ、12月の中央審査委員会で年間を通じて決定する「フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)」「ベスト・フラワー(優秀賞)」「特別賞」の対象品種としてノミネートされます。

■審査概要

日時：2007年5月31日(木) 9:30~12:00

場所：さいたまスーパーアリーナ(埼玉県さいたま市)

会場：「ジャパンフラワーフェスティバルさいたま2007」ジャパンフラワーセレクションコーナー

■審査対象

バラ、キク、カーネーション、トルコギキョウなどの新品種を審査しました。

【出品品種】40品種 (切花部門26品種 / 鉢物部門14品種) うち

【入賞品種】26品種 (切花部門13品種 / 鉢物部門13品種)

■審査委員

国内の花き業界を代表する学識者、フラワーデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

<切花部門>

今西 英雄	園芸学研究者	東京農業大学農学部教授
大川 清	園芸学研究者	静岡大学名誉教授
宍戸 純	生花市場	(株)大田花き商品開発室長
井野口守政	フラワーデザイナー	花半生花店代表
小泉 徹	フラワーデザイナー	(株)白楽花園代表

<鉢物部門>

長岡 求	生花市場	(株)フラワーオークションジャパン取締役
腰岡 政二	園芸学研究者	日本大学生物資源科学部教授
米田 勝	フラワーデザイナー	(株)花ぬすびと代表
三浦 俊雄	インドアグリーンコーディネーター	三浦花園代表
金子 彰五	生花商	吹上花園代表、(社)日本生花商協会常務理事

2. 入賞品種、受賞者は別紙

3. 審査委員講評

【切花部門】

出品数が26点のうち、結果として13点が入賞になった。

エウストマ・グランディフロルム(トルコギキョウ)「コサージュ グリーン」、「コサージュ アプリコット」は、従来の品種に比べ、日持ちが良く、花が多くつき、見栄えもよい。一輪ごとに枝として使うこともできることを含めて、花のパフォーマンス性が高く、新たなマーケットの創出が期待できる。また、栽培面では、生産技術の高い生産者のみの栽培に限っていることから、コサージュ・シリーズとしてブランド化が図られていることも評価できる。

クリサンテムム(キク)「セイアメリ」、「セイアメリピーチ」、「セイアメリサーモン」はスプレーマムとコギクの間中に存在する花であり、仏花・洋花の両方に使うことができる。日持ちが良く、特に花弁が堅くて長くもつ特色がある。小型で用途の広い品種であり、新たなマーケット需要を引き出す力が極めて高い。

栽培面からみると環境に配慮し、無農薬栽培による出品(アルストロメリア)があった。また四季咲き性の特性をもったカンパニュラのような出品物が出てきた点を、評価したい。

一方で、フローリストの立場から「変わったもの=新しいもの」が少なく感じられ、今後、より新規性のある品種の出品を期待したいという意見もあった。さらにより多くの出品が望まれる。(今西英雄委員)

【鉢物部門】

鉢物部門の総出品数は14点と少なかったが、出品物は全体にレベルの高いものが多く、審査の結果、1点を除く13点を入賞とすることになった。

その中でも、ロサ(バラ)「イージーエレガンス ピンクノーム」は花付きの多さに加えて環境耐性の強さから、バラの新たな使い道が考えられる。

またデンドロビウム「サマーナイトドリーム ‘サチ’」は夏咲き系のデンドロビウムとして従来にない日持ちがあり、母の日からサマーギフトに利用できることと、緑色がかかった白色の色彩が、清楚で涼しげな印象を与える。

更にカリブラコア「ペティ ダブルピンク」はカリブラコア初の八重咲き品種であることが評価された。ディアンthus(カーネーション)「CFPCシャガール」はユニークな花色とホイヘラ「ピーチフランバ」の葉色は人目をひくものであった。(長岡求委員)

4. 次回審査会

切花部門・鉢物部門		花壇苗部門	
2007年11月23日(金)～25日(日) 審査日:11月23日(金)予定	かんさいフラワーショー 主催:かんさいフラワーショー実行委員会 (花き関係団体主体) 会場:大阪府大阪市 花博記念公園	2007年6月15日(金)	夏花壇の審査会 会場:静岡県浜松市 浜名湖ガーデンパーク
		2007年10月15日(月)	秋花壇の審査会 会場:静岡県浜松市 浜名湖ガーデンパーク



全部門共通	
2007年12月上旬	中央審査委員会 ・1年間の入賞品種を審議 ・フラワー・オブ・ザ・イヤー等の選考
2007年12月13日(木)	フラワー・オブ・ザ・イヤー授賞式 ※記者発表会を兼ねます

入賞品種の中から、2007年12月13日(木)に第2回フラワー・オブ・ザ・イヤー決定!



左記が、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせする JFS 受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。

世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

■お問い合わせ先 : ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局

TEL 03-3364-8739 FAX 03-3364-8743

〒103-0004 中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階 (財)日本花普及センター内

E-mail : jfpc@jfpc.or.jp

★今年の入賞品種はこちらをご覧ください。 www.jf-selections.net